



原田織維文庫  
文庫4  
661





天  
 督  
 鑑  
 鑿  
 鐘  
 鑿  
 子  
 於  
 八  
 門  
 鑿





文庫  
661

# 養老種名鑑

徳の老人四尊

昭和三十一年十月二十九日  
第一商学部より移管



自序

早稲田大学  
図書館蔵書

原田維新文庫

吾國州邑遠信夫の為邪、  
とあるに地とて、  
小場と稱する年、  
種を由る人諸國より、  
郡より、  
本人情、  
かゝる惡種を

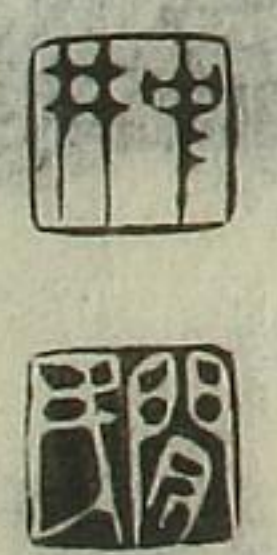


塙あつちを志あつちとよあふ龍りゆう跡あとをきく久くとあふ  
諸人しよじんをまやかし吾輩われらも亦また此こゝに流けう行者ぎやうも  
まゝ多おほくし先まづ余あま多年おほくねんの憂うれにままむ  
事ことあふいさる雷かみなりさりてと敗ま復たふの人ひとは  
流ながひ若わか龍りゆう消しょうを捨すて孫そん権けん流りゆう鑑かんを  
云いふと小冊せうさくを著しよし一ひと世よの人ひとは使つか使つか不ふ  
偽いつはりし全ぜん龍りゆう若わかの人の款かんとく誤ごをまといふ  
惡あく權けんを謀まうき血ち脈みやくの星せい程ていを雲うんとせ遠とほ

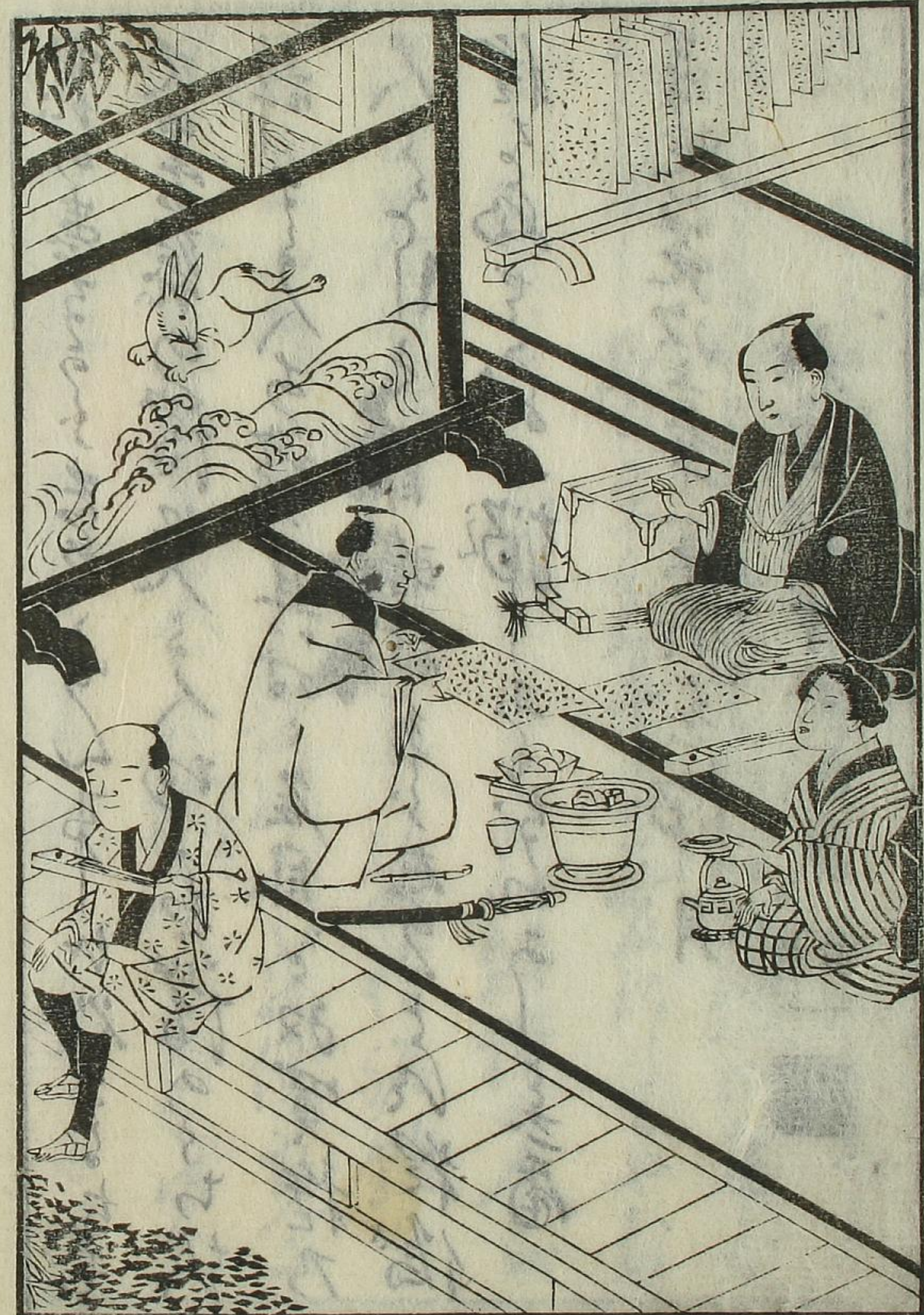
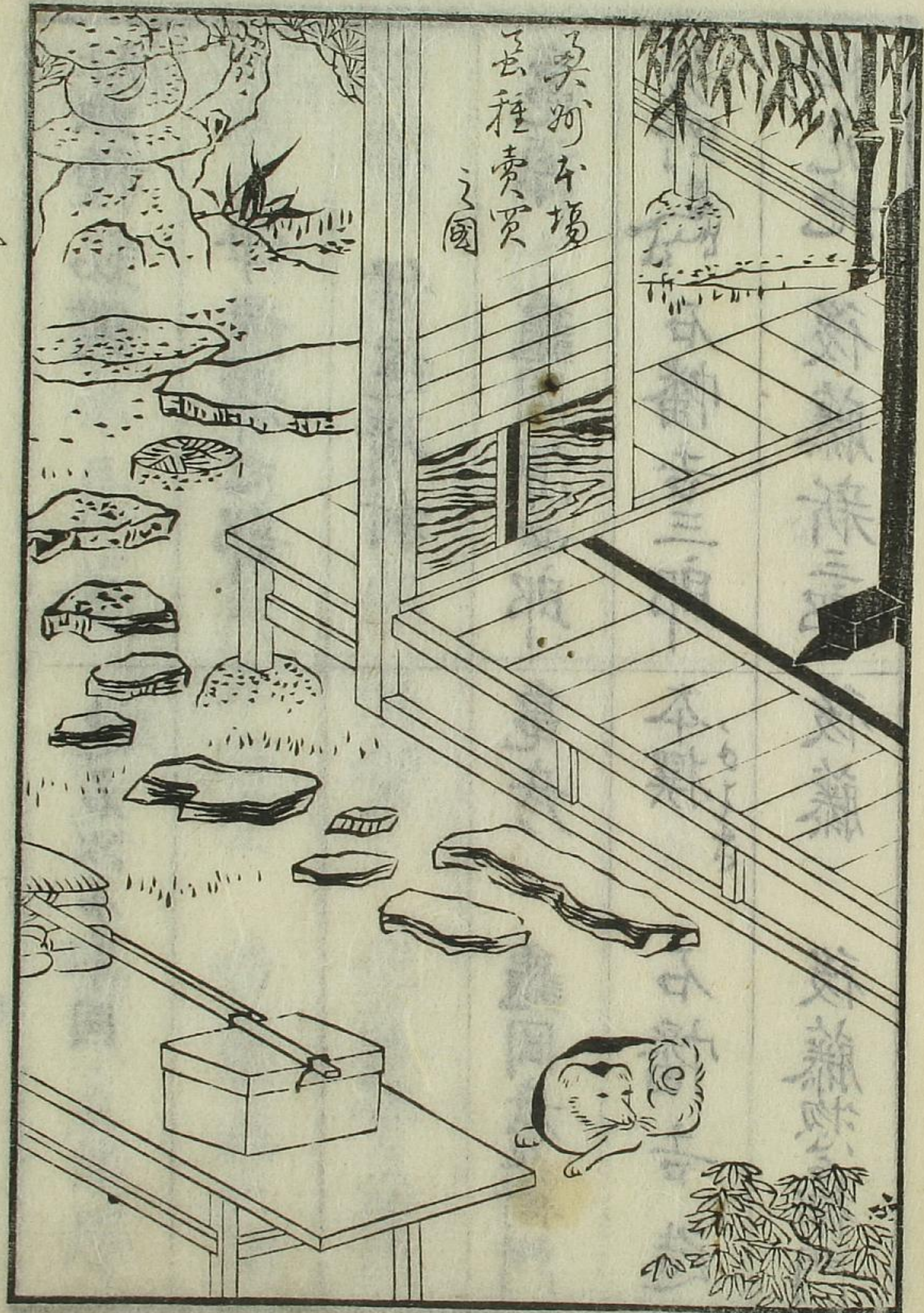
龍りゆうの患あはれをあふ志あつちとよあふ事ことはあつち  
又また出い龍りゆうの流ながひにあふ人ひとはあつち  
辞ことばまゝ人ひとあつち其その時ときにあ目めをあ買か權けん乃すなはち  
人ひととあつちとあ目め然しかるる志あつちとよあふにあつち  
權けんをあつちとあつち一ひと端たんとあつちとあつち

弟あつち延えん元げん次じ上じやう章しやう深しん淵えん去き輝き月げつ

松壽軒中井閑氏









蟻種銘鑑

連名次第不同

伊達郡之部

伊達崎村

亀源

龜岡源四郎

亀彦

龜岡彦左衛門

芳野よし

石幡吉三郎

よしき本撰

石幡吉造

松の九地

後藤新三郎

後藤

後藤惣右衛門

松の口

後藤新蔵

金華きんか

小湊こみなと文少

小の又

小湊こみなと五八

小湊こみなと五八

小湊こみなと五八

同伏黒村

同伏黒村

白壁堂

小湊こみなと五八

朝暎

佐藤運四郎

陸りく惣

佐藤孫左衛門

極撰藤屋

佐藤与惣左衛門

平蚕堂

佐藤藤兵衛

本撰

鳴長

鳴原長蔵

本撰

美容

鳴原庄治郎



本撰  
也

鳴原彌六

幸神堂

八城彦兵衛

極撰  
幸神堂

八城彦治郎

本撰  
て

八城権七

本撰  
東養

八城太左衛門

上撰  
撰青  
御註文

鈴木七五郎

塩善

鈴木善作

白銀堂

小野五兵衛

小のや

小野庄八

小野蚕

小野作兵衛

大蚕

小野代助

金華蚕

小野丈七

本撰  
金色

小野彌治兵衛

上撰  
館孝

小野久之照

陸蛭

羽田藤右衛門

てんき

松浦屋角治郎

本撰  
富蚕

富田三九郎

大極上撰  
てんき

如来堂觀惣

完藤

完戸藤作

隈本

富田七五郎

本撰  
長東

菅野太重郎



同桑折驛

佐新

佐藤新右衛門

又

菊田一郎右衛門

信駒

佐藤七五郎

寶菜齋

田澤屋勘七

同上郡

藤中

八卷藤兵衛

藤中

八卷彌六

中吉

八卷吉之丞

大萬

大槻万之丞

彦中

大槻彦兵衛

儀中

大槻儀兵衛

隈川

安彦政兵衛

同保原

真撰

佐藤林右衛門

一角

佐藤市郎



同掛田

川久

川城屋久之助

川藤

川城屋藤吉

大吉上多  
手掃

大橋吉藏

同岡村

岡甚

芳賀甚七

真蚕堂

阿部文右衛門

岡塩

田中太平

三島堂

菊蚕

菊田吉兵衛

金華蚕

和田屋佐助

青龍軒

槌屋藤右衛門

槌屋藤右衛門

同中瀬村

吹抜蚕

完戸儀左衛門

扶桑根元

伊藤彦治郎

伊藤彦治郎

伊藤

伊藤作重郎

三瓶

三瓶嘉左衛門



真

伊藤元治郎

永

伊藤栄吉

大東

加藤善兵衛

中雄

加藤勇治郎

金同二袋村

喜蠶

遠藤喜三郎

極撰

遠藤権吉

殖蚕堂

菊傳

菊地傳兵衛

寶蠶

遠藤平右衛門

上撰

菊池

菊池清蔵

大國上

菊池彦左衛門

涼養堂

菊清

菊池清四郎

稀撰

中山三郎左衛門

本撰

菊池

菊池紀左衛門

菊喜

菊池喜右衛門

庭善

松浦善四郎

後藤

後藤長右衛門

大湊

佐藤甚四郎

島仙

佐藤三十郎



遠嘉

遠藤嘉藏

同栗野村

中善

池田善兵衛

栗友

池田友吉

加新

加藤新左衛門

栗儀

池田儀左衛門

栗源

加藤源六

長齋

池田長治郎

池安

池田安右衛門

栗銀

池田銀藏

池儀

池田儀七

同東大枝村



新  
乃姿

酒井太吉

本撰  
く酒寫

佐木林太郎

松比系

大槻惣重郎

松のゆき

菅野清蔵

出同 西大枝村

永寫

瀬戸茂右衛門

大忠

玉手忠蔵

竹隈

玉手伴蔵

大磯

小林磯次郎

極撰

玉手忠四郎

東

貞田



川内  
佐藤庄兵衛

同湯村

極撰  
真

陽田喜四郎

板谷内

鈴木文七

本  
北安

北原

菅野安兵衛



青光絲小幡 鈴木長藏 鈴木彌柳田 鈴木庄衛門

二傳藤田 泰元次郎 塚佐塚目 佐久間與兵衛

花駒白根 霜山宗吉 春復秋鎌田 完户庄三郎

盛駒新田 佐藤廣吉

同塚原村


桑彌 須田彌右衛門 東彌 須田彌左衛門

大蠶 須田三次郎

同關波村林

澁口 澁谷五右衛門 竹兎馬 澁谷龍助

同舟生村

 上撰 完户久米次郎 倉七 氏家七兵衛



同五十澤村

中川 完戸七郎治 武隈 完戸喜右衛門

完喜 完戸喜惣治 中山 完戸七藏

上川 飯沼和助 岡宇 岡崎宇右衛門

岡儀 岡崎儀右衛門

同 梁川

春駒 石井仙藏 関清 関東屋清右衛門

大竹 大竹惣兵衛 中角 齊藤平重郎

八卷善右衛門 中儀 関東屋儀左衛門

少子文  
一粒忘り



卷味 八卷伴藏 中佐 中村屋佐平治


中佐五 中村佐五右衛門 廣瀨 石井市左衛門



関忠 関東屋忠右衛門 桑園 関東屋直右衛門

関城 関東屋城助 石清 石井屋清太郎

本撰 八卷富藏 本撰 八卷善兵衛

一粒 万倍 八幡屋彦太郎 會太 會津屋次右衛門

 紙屋太治兵衛 佐甚 佐藤屋甚右衛門

 大門屋甚右衛門  紙屋幸助

鈴勘 鈴木勘之栗 極撰 額田屋仙助

子 中忠 中村屋忠兵衛 岡忠 岡村屋忠吉

越權 越後屋權太郎 角平 角屋平治郎

石登 三浦助四郎 中善 中村屋善吉





柏屋利兵衛 大栄 大野屋栄治



八幡屋半兵衛 廣駒 額田屋政吉



米澤屋利助 岩瀬 岩瀬屋音七



山田屋八十吉 高寛 高橋屋寛蔵



後藤屋安次郎 丹栄 丹野屋栄吉

森錦亭撰

額田屋卯之吉 永樂 永田屋平兵衛

車輪

車屋吉郎兵衛 村上 村上吉三郎

金札

三田有隣 鉄齋 加賀屋平作

中善

中野屋善助 榮蚕 丹野屋栄七

極撰

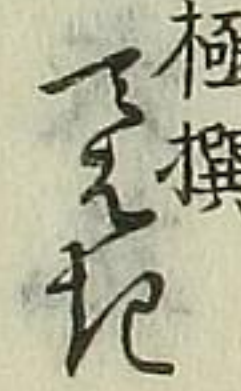


桑島彌吉 田中屋佐七

中喜

佐藤喜平

極撰





信夫郡之部

同瀨上驛

本兩

兩國屋代三郎

大丸

大丸清左衛門

同福島

小善

小島善兵衛

茂登樹

泉村

佐藤貞藏

中善

泉村

佐藤善藏

福庄

郷自

尾形庄重郎

中尾

郷自

尾形庄吉

金増  
古長古登壽

鳥渡

菊地長四郎

壽撰

荒井

難波壽永太

清

夫每生

清野佐重郎



大隈川下伊具郡種場之部

丸森



齋藤万右衛門

齋錦

齋藤権治

八卷

八卷屋利兵衛初駒

三澤屋嘉吉

齋利

齋藤屋利助

齋傳

齋藤屋傳吉

大儀

大竹屋儀右衛門

齋像

齋藤屋儀右衛門

大勘

大内勘右衛門

青陽蚕

小野権右衛門

留蠶

留主幸右衛門

新善

小野善右衛門

齋善

齋藤屋善右衛門

齋勘

齋藤屋勘藏

齋忠

齋藤屋忠三郎

齋幸

齋藤屋幸助



同館山

館久 加藤久五郎 館德 館山德治

館吉 齋藤吉郎治 寶林 小野善之助

銀光絲 梁川發起人 中井半三郎

新駒 講元 額田屋仔惣治

奥州本場誥諸國種師之部

塚孝 羽州米沢荒戸 塚野屋孝助 上州國分村 住谷勝藏 蚕種世話人

斧 信州上田 樋口徳右衛門綿藤 上州沼田森下町 綿貫藤兵衛

介 越中八尾 尾山利兵衛 上州沼田 櫛淵金兵衛

奥州會津之部

宇津村 遠藤仇次兵衛 日中村 檜澤佐五兵衛



針生村  
高橋四郎治

木戸金三郎

薄木氏四郎

讓家村  
大塚久四郎

黒川村  
猪又與七郎

猪又定右衛門

栗生村  
横山佐平治

横山治郎左衛門

口演

各樣益所機括免遊以塵奉忍壽其  
諸事當國伊達信文兩郡在種之係  
年來河津文被成下杉又所商人極方  
遠國之處不相習以光來亦茲增所用  
而此御付難者亦在依一艱查精相勵  
數品飼立蚕性每爾振宜浦名目多方



別分今云相撰猶又種之品格寄寓下  
之位相附乎乎上水右付令般也改仲間  
一統相談之上養強溝取立議定相望御  
蘇末品不指之在行司<sub>并</sub>講元世活方相立  
年之諸國御得意採方先來之上一同  
集會仕蚕種之立直相定之可<sub>中</sub>於尤前條  
種銘并家名を顯一奉入<sub>小</sub>覽<sub>也</sub>始<sub>る</sub>

御方採<sub>何方</sub><sub>也</sub>採<sub>又</sub>御<sub>付</sub>採<sub>也</sub>採<sub>精</sub>  
吟味仕可<sub>手</sub>指<sub>之</sub>勿論<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>  
遠國之御方採<sub>也</sub>每年四月中<sub>也</sub>採<sub>也</sub>  
之採金相添飛脚屋便<sub>以</sub>不限<sub>也</sub>採<sub>也</sub>  
註文<sub>と</sub>採<sub>下</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>  
之傍<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>  
採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>採<sub>也</sub>



波下如花 套種之 暑中 之 入 以 一  
是 土 用 明 廿 日 相 立 早 暎 暎 暎 暎 暎 暎 暎 暎  
中 古 以 直 州 住 又 成 日 之 暎 暎 暎 暎 暎 暎 暎 暎

為念添書子中一之於仰住又上仰分於套種仲官内  
萬一不調法一之我者一之官者其得共若望滯一不而望者  
當起人方上仰下之不所方一也語方相之暎暎暎暎暎  
解得而拾支一不而年也於可年家之也

月日

發起人

中井半三郎

慶應改明治天朝宇內御領國中諸縣  
以管轄雜課免除上下平等而



早稲田大学図書館

011488479611